

人も地球も健康に

Yakult



乳酸菌 シロタ株が
150億個から
200億個
(1本65mlあたり)
に増えました！



Value Up!



株式会社ヤクルト本社

第62期
中間期 **株主通信**

平成25年4月1日～平成25年9月30日

掲載内容

- 01 株主の皆さまへ／連結業績ハイライト
- 03 セグメント別業績概況
- 07 第2四半期連結財務諸表等
- 09 特集 「世界で愛飲されるヤクルト」
- 11 会社情報
- 13 コラム 「プロバイオティクスによる免疫調節作用」
- 14 健康情報誌「ヘルシスト」のご紹介

To Our Shareholders

ごあいさつ



代表取締役会長（CEO）

堀 澄也



代表取締役社長（COO）

根岸考成

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、平成25年4月1日から平成25年9月30日までの経営成績につきまして、連結の業績を中心に報告申し上げます。

平成25年11月



私たちは、生命科学の追究を基盤として、
世界の人々の健康で楽しい
生活づくりに貢献します。

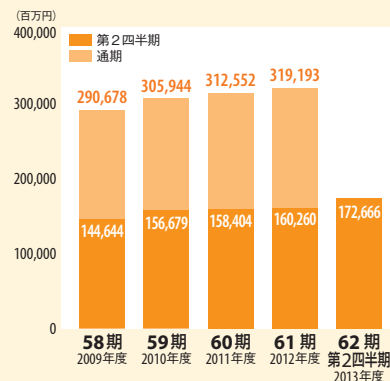
当第2四半期について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外景気の下振れの影響が依然として懸念されるものの、一部企業収益が上向きとなり、雇用情勢が改善される中で個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかに回復しつつあります。

このような状況の中で、当社グループは、事業の根幹であるプロバイオティクスの啓発・普及活動を展開し、商品の優位性を訴求してまいりました。また、販売組織の拡充、新商品の研究開発や生産設備の更新に加え

連結業績ハイライト

● 売上高



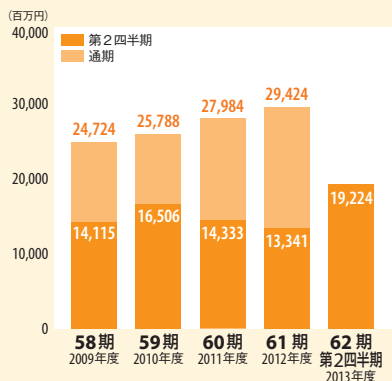
え、海外事業や医薬品事業にも積極的に取り組み、業績の向上に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は172,666百万円(前年同期比7.7%増)となりました。

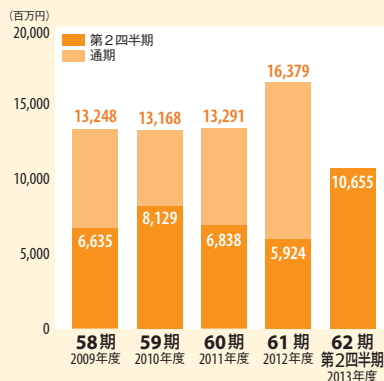
た。利益面においては、営業利益は15,432百万円(前年同期比65.7%増)、経常利益は19,224百万円(前年同期比44.1%増)、四半期純利益は10,655百万円(前年同期比79.8%増)となりました。

	当第2四半期累計期間	通期の見通し
売上高	172,666 百万円 (前年同期比 7.7%増)	355,000 百万円 (前期比 11.2%増)
経常利益	19,224 百万円 (前年同期比 44.1%増)	39,500 百万円 (前期比 34.2%増)
四半期(当期)純利益	10,655 百万円 (前年同期比 79.8%増)	22,500 百万円 (前期比 37.4%増)

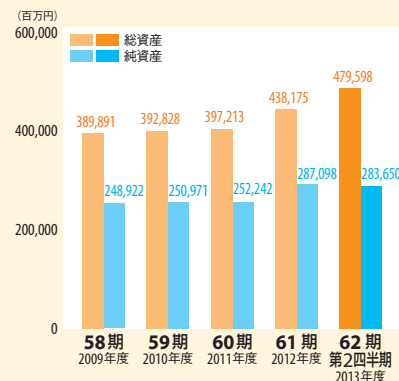
● 経常利益



● 四半期(当期)純利益



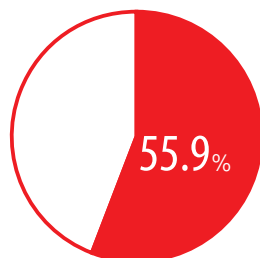
● 総資産／純資産



Financial Result by Segments

※セグメント別の売上高構成比は、セグメント間売上高の消去前金額に対する構成比です。

飲料および食品製造販売事業部門(日本)

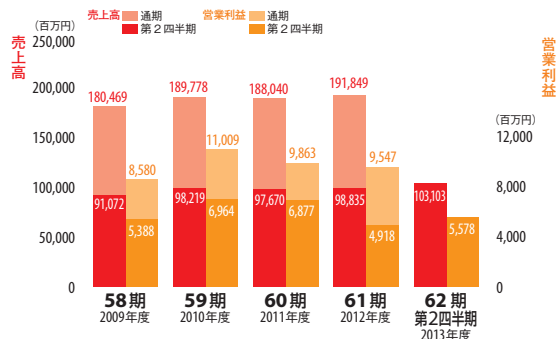


売上高構成比

当第2四半期連結累計期間

売上高
103,103 百万円
(前年同期比: 4.3% ↑)

営業利益
5,578 百万円
(前年同期比: 13.4% ↑)



日本国内における乳製品については、当社独自の「乳酸菌 シロタ株」を中心に、エビデンス(科学的な根拠)を活用した「価値普及」活動を展開しました。

宅配チャネルにおいては、主力商品である乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト400」「ヤクルト400LT」を中心とした飲用体感促進型普及活動の推進に努めました。

店頭チャネルにおいては、7月から8月まで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」10本マルチパック(特別パッケージデザイン)および「ヤクルトカロリーハーフ」を対象とした「夏のプロ野球応援フェ

ア」を実施し、プロモーションスタッフを活用したお客さまへの「価値普及」活動を展開しました。

商品別では、8月下旬までの期間限定アイテム「ジョア ピーチ」について販売促進策を実施し、引き続き「ジョア」ブランドの活性化を図りました。

ジュース・清涼飲料については、7月にヨーグルト風味の機能性乳性飲料「ホワイトミルージュ」を11月までの期間限定で発売し、「ミルージュ」ブランドの活性化と夏季の商品ラインアップの強化を図りました。

2013年
NEWS
&
TOPICS

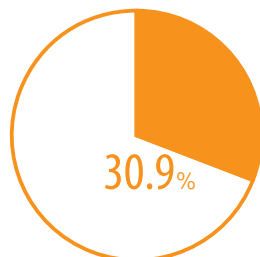


「New ヤクルト」「New ヤクルトカロリーハーフ」を発売

「ヤクルト」1本あたりに含まれる「乳酸菌 シロタ株」の菌数を、150億個から200億個に増やした「Newヤクルト」を2013年11月4日より発売しました。「乳酸菌 シロタ株」の菌数を増やすことで、現行「ヤクルト」の商品価値をさらに向上させています。また、「ヤクルトカロリーハーフ」についても「Newヤクルト」と同様の菌数アップを行い、「Newヤクルトカロリーハーフ」として発売しています。



飲料および食品製造販売事業部門(海外)

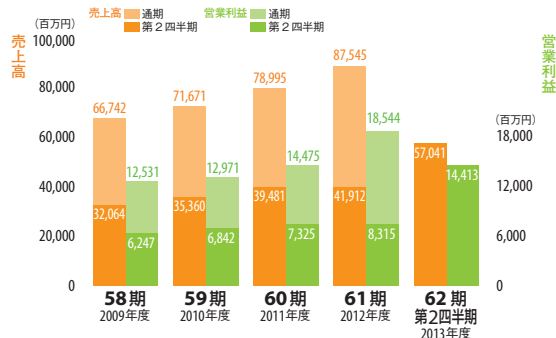


売上高構成比

当第2四半期連結累計期間

売上高
57,041 百万円
(前年同期比: 36.1% ▲)

営業利益
14,413 百万円
(前年同期比: 73.3% ▲)



米州地域

売上高 24,716 百万円 (前年同期比: 28.6% ▲)

米州地域においては、ブラジルおよびメキシコで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売し、米国では「ヤクルト」などを輸入販売しています。

メキシコにおいては、5月からハードタイプヨーグルト「ソフルLT」の販売を開始しています。

アジア・オセアニア地域

売上高 28,004 百万円 (前年同期比: 49.4% ▲)

アジア・オセアニア地域においては、香港、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、インドおよび中国などで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売しています。

中国においては、「ヤクルト」の販売本数の増加が見込まれるため、広州ヤクルト株式会社での第2工場の建設および天津ヤクルト株式会社(天津工場)の敷地内での第2工場棟の建設を進めています。販売エリアを順次拡大しており、9月の一日当たり平均販売本数は約456万本となっています。

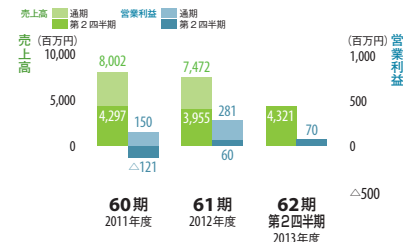
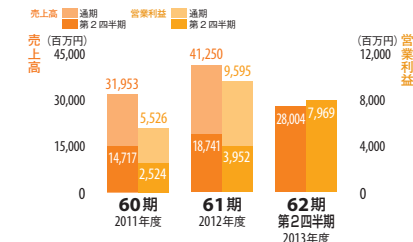
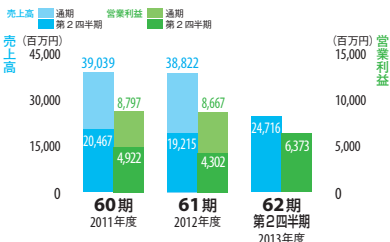
ベトナムにおいては、8月から同国中部最大の商業都市であるダナン市およびその周辺都市の店頭チャネルで「ヤクルト」の販売を開始しました。

ヨーロッパ地域

売上高 4,321 百万円 (前年同期比: 9.3% ▲)

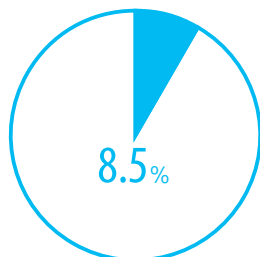
ヨーロッパ地域においては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などをオランダで製造し、同国を含め、ベルギー、イギリス、ドイツ、オーストリアおよびイタリアなどで販売しています。

ドイツおよびオーストリアにおいては、9月から「ヤクルト」に食物繊維を添加した高付加価値タイプの「ヤクルトプラス」の販売を開始しました。



Financial Result by Segments

医薬品製造販売事業部門

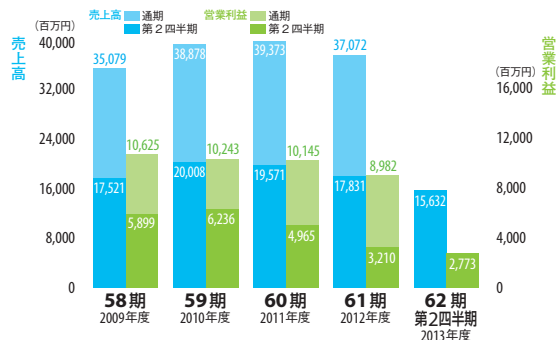


売上高構成比

当第2四半期連結累計期間

売上高
15,632 百万円
(前年同期比: 12.3% ↓)

営業利益
2,773 百万円
(前年同期比: 13.6% ↓)



医薬品については、国内において、がん化学療法剤「エルブラット」の進行・再発大腸がんに対する標準療法のさらなる浸透や、FOLFOXレジメンおよびXELOXレジメンによる術後補助化学療法(手術後の再発防止のための化学療法)の啓発を図るため、医療関係者を対象とした講演会や医局説明会などを積極的に開催しました。また、がん化学療法剤「カンプト」をはじめ、代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤「ゲムシタピンヤクルト」、活性型葉酸製剤「レボホリナートヤクルト」および遺伝子組み換えG-CSF製

剤「ノイアップ」のシェアおよび販路拡大に努め、がん領域に特化した販売活動に力を注ぎ、売り上げの増大を図りました。

研究開発においては、5月に承認申請した「カンプト」「エルブラット」および「レボホリナート」を用いたFOLFIRINOX療法の膵がんへの適応拡大について承認後の導入準備を進めています。また8月には、「イマチニブヤクルト」の製造販売承認を取得し、発売に向けた準備を進めています。またパイプラインの開発を推進することで、がん領域でさらなる強固な地位の確立を目指します。



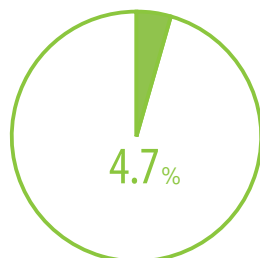
● 9月30日より乳製品3商品を新発売

「ヤクルトAce」が特定保健用食品の表示許可を取得したことに伴い、2013年9月30日よりデザインをリニューアルして発売しました。また、「三つ星Factory」からカシスの爽やかな味わいが楽しめる新しい風味の乳酸菌飲料「ヤクルトフルーティ」を新発売したほか、「ジョア」の期間限定アイテム第9弾として、「レモン」の爽やかな風味と、ヨーグルトのまろやかさがマッチした「ジョア レモン」を発売しています。



ジョアでは、2009年から“お客さまが飲んでみたい味”を中心に期間限定アイテムを発売しています。

その他事業部門



売上高構成比

当第2四半期連結累計期間

売上高

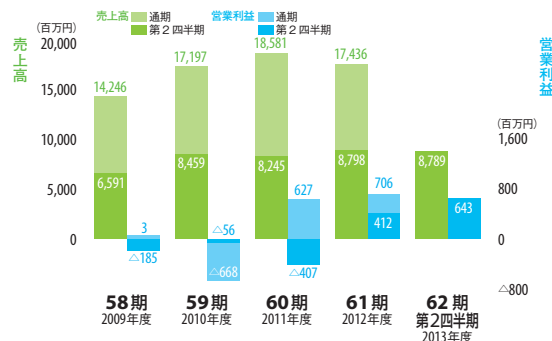
8,789 百万円

(前年同期比: 0.1% ↓)

営業利益

643 百万円

(前年同期比: 56.1% ↑)



その他事業部門には、化粧品の製造販売およびプロ野球興行などがあります。

化粧品については、基礎化粧品の主カブランドである「パラビオ」「リベシィ」および「リベシィホワイト」を中心としたカウンセリング型訪問販売活動によるお客さまへの「価値普及」活動を継続して展開しました。

また、当社オリジナルの保湿成分を配合した化粧水「ラクト

デュウ S.E.ローション」を第2四半期の重点商品と位置づけ、「夏こそ保湿」をテーマに新たなお客さまとの接点づくりに取り組みました。

一方、プロ野球興行については、引き続き、神宮球場において各種イベントを通じたファンサービスやさまざまな情報発信を行い、入場者数の増大に努めました。

● 期間限定商品「ソファール アップル」「Yakult Dolce」を発売

ハードタイプヨーグルト「ソファール」のシリーズ品として、りんご果汁とヨーグルトの風味がマッチした「ソファール アップル」を2013年10月28日より期間限定で発売しました。また、「三つ星Factory」からは「Yakult Dolce (ヤクルトドルチェ)」を2013年9月30日より秋冬限定で発売しています。乳酸菌由来のコクと生クリームのなめらかさがマッチしたヤクルト仕立ての大人のデザートです。



Consolidated Financial Statements

第2四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科目	第61期連結会計年度 平成25年3月31日現在	第62期第2四半期 平成25年9月30日現在
資産の部		
流動資産	185,133	200,737
固定資産	253,042	278,861
有形固定資産	150,612	166,556
無形固定資産	6,302	6,102
投資その他の資産	96,127	106,202
資産合計	438,175	479,598
負債の部		
流動負債	121,218	135,002
固定負債	29,858	60,945
負債合計	151,077	195,947
純資産の部		
株主資本	288,006	263,680
資本金	31,117	31,117
資本剰余金	41,507	41,507
利益剰余金	223,040	231,711
自己株式	△7,658	△40,656
その他の包括利益累計額	△26,163	△10,188
その他有価証券評価差額金	6,471	10,093
為替換算調整勘定	△32,634	△20,282
少数株主持分	25,255	30,159
純資産合計	287,098	283,650
負債・純資産合計	438,175	479,598

第2四半期連結損益計算書

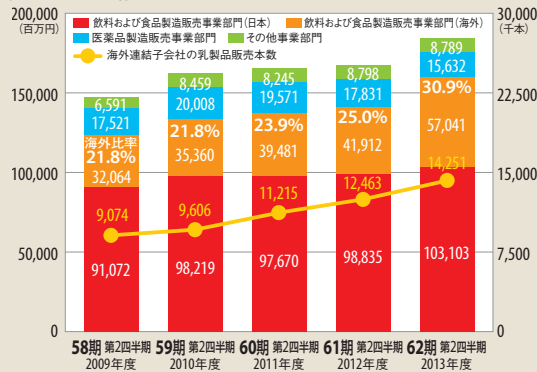
単位：百万円

科目	第61期第2四半期累計 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	第62期第2四半期累計 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで
売上高	160,260	172,666
売上原価	74,517	77,622
売上総利益	85,742	95,044
販売費及び一般管理費	76,426	79,612
営業利益	9,315	15,432
営業外収益	4,650	4,899
受取利息	1,132	1,064
受取配当金	529	659
持分法による投資利益	1,777	1,633
その他	1,211	1,541
営業外費用	625	1,107
支払利息	354	354
支払手数料	18	535
その他	252	217
経常利益	13,341	19,224
特別利益	849	371
固定資産売却益	458	348
その他	390	23
特別損失	2,551	503
固定資産売却損	17	146
固定資産除却損	413	279
投資有価証券評価損	1,892	—
その他	228	77
税金等調整前四半期純利益	11,639	19,092
法人税等	4,268	6,151
少数株主損益調整前四半期純利益	7,370	12,940
少数株主利益	1,445	2,285
四半期純利益	5,924	10,655

第62期第2四半期のポイント

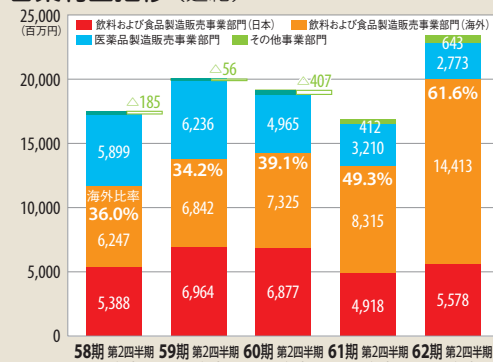
1. 全体の売上高・営業利益・経常利益は過去最高を更新し、増収・増益
2. 国内飲料は海外向け生産機器売上の増加および経費減少等により、増収・増益
3. 海外飲料はアジアを中心とした販売本数の大幅増加および為替の円安効果等により、増収・増益
4. 医薬品はエルプラットの販売数量減等により、減収・減益

▶売上高推移（連結）



(注) セグメント間売上高の消去前金額で表示しています。

▶営業利益推移（連結）



(注) 全社費用等の調整前金額で表示しています。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	第61期第2四半期累計	第62期第2四半期累計
	平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	21,212	21,314
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,855	△21,845
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	9,504	3,484
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,114	6,839
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,975	9,793
現金及び現金同等物の期首残高	75,559	82,773
現金及び現金同等物の四半期末残高	80,534	92,566

キャッシュ・フローのポイント

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益19,092百万円に加え、減価償却費があった一方で、法人税等の支払額等があったことにより、21,314百万円(前年同期比101百万円の収入増)となりました。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フローは、主に生産設備の新設、増設および更新による固定資産の取得があったことにより△21,845百万円(前年同期比5,009百万円の支出減)となりました。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入があった一方で、自己株式の取得や配当金の支払い等により3,484百万円(前年同期比6,019百万円の収入減)となりました。

▶ より詳細な財務情報は、当社ホームページの「IR情報」で各種資料がご覧いただけます。

<http://www.yakult.co.jp/company/ir/>

ヤクルト IR情報

検索



世界で愛飲されるヤクルト

～すべての人の健康を願って～

1935年に1本のヤクルトから始まった当社では、生きて腸に到達し、有用な働きをする「乳酸菌 シロタ株」を一人でも多くの人々に摂取してもらうため、商品ラインナップを充実し、人々の健康を守る製品を生み出しています。



医学博士 代田 稔

ヤクルトの原点

ヤクルトの創始者であり医学博士の代田 稔が、京都帝国大学(現・京都大学)で医学の道を歩み出した1921年当時の日本は、衛生状態の悪さからコレラや赤痢などの感染症で命を落とす子どもたちが数多くいました。

このことに胸を痛めていた代田は、治療以前に病気にかからないようにする「予防医学」を志し、微生物研究に取り組みました。そこで、乳酸菌が腸の中の悪い菌を抑えることを発見し、この乳酸菌の強化培養に世界で初めて成功します。それが今日、「乳酸菌 シロタ株」と呼ばれているラクトバチルス カゼイ シロタ株です。

代田は「乳酸菌 シロタ株」を一人でも多くの人々に摂取してもらい、おなかの健康に役立ててもらおうと、有志とともに安価でおいしい乳酸菌飲料を製品化し、1935

年「ヤクルト」の商標で発売します。それが、今日では、世界中で愛飲されている「ヤクルト」のはじまりなのです。

「代田イズム」の考え方

代田は「予防医学」とあわせ、他に2つの考え方を提唱しました。一つは、栄養を吸収する場所である腸を丈夫にすることが、健康と長生きにつながるという「健腸長寿」です。もう一つは、「誰もが願う健康を、誰もが手に入れられる価格で」提供することです。ヤクルトでは、代田が提唱した三つの考え方を「代田イズム」と呼び、今でもすべての事業の原点としています。「ヤクルト」をはじめとする乳酸菌飲料、はっ酵乳はすべてこの考え方に基づいています。

用語解説 「乳酸菌 シロタ株」(ラクトバチルス カゼイ シロタ株)

口から摂った「乳酸菌」は、胃液や胆汁など殺菌力の強い消化液の中を通過しなければならず、ほとんどは腸にとどく前に死んでしまいますが、「乳酸菌 シロタ株」は強化培養されているため、強い消化液に耐えて生きて腸内に到達します。そのため、良い菌を増やし悪い菌を減らして腸内環境を改善し、おなかの調子を整えてくれるのです。



「乳酸菌 シロタ株」と「ビフィズス菌(B.ブレーベ・ヤクルト株)」の働き

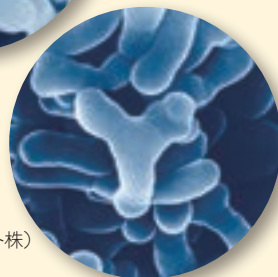
「乳酸菌 シロタ株」を多く含むヤクルト類の商品のほか、生きて腸にとどき、主に大腸ではたらく「ビフィズス菌(B.ブレーベ・ヤクルト株)」を多く含むミルミル類の商品があり、長年のプロバイオティクス研究の成果が次々と商品化されています。「乳酸菌 シロタ株」と「ビフィズス菌(B.ブレーベ・ヤクルト株)」には、①腸の運動を高めて便性を改善する。②腸内の有用菌を増やし、有害菌を減らす。③有害物質の生成を抑え、腸内腐敗を防ぐ働きがあります。

世界で毎日約3,000万本以上

1964年の海外進出以来、現在、日本を含む33の国と地域で一日3,000万本以上愛飲されているヤクルトの乳製品。開発途上国では、今もコレラや赤痢で命を落とす人々が多く、先進国においては、豊かな生活に起因する生活習慣病などが増えています。「乳酸菌 シロタ株」の研究は、生活習慣病の予防や手術後の感染症予防、免疫力の向上などへと分野が拡大され、その可能性はますますふくらんでいます。これからもヤクルトは、原点である代田イズムに基づいて、世界の人々の健やかで楽しい生活づくりに貢献してまいります。



主に小腸で働く
乳酸菌 シロタ株

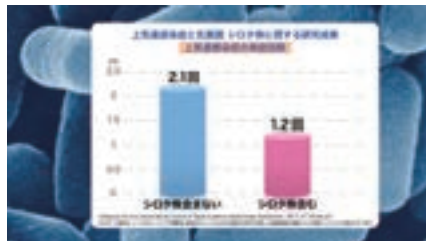


更に大腸で働く
ビフィズス菌
(B.ブレーベ・ヤクルト株)

ヤクルト中央研究所 「菌未来レポート」



「菌未来レポート」は、「乳酸菌 シロタ株」の科学的研究成果を分かりやすくお伝えし、ヤクルトの企業価値を高めるための企業CMです。「上気道感染症(カゼ・インフルエンザ)編」では、乳酸菌 シロタ株を含む飲料を飲むことで、カゼやインフルエンザにかかる回数が約半分になるといいます。ラフバラ大学(英国)の研究成果を取り上げています。



Information

現在、日本を含む33の国と地域(2013年10月より)で、
主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造、販売を行っており、
世界中で毎日約3,000万人を超える方々にご愛飲いただいています。

【ヤクルトの乳製品売上本数】



海外：2013年1月～6月の1日当たり平均本数
日本：2013年4月～9月の1日当たり平均本数

EUROPE

▶国と地域：12

▶1日当たりの販売本数：65万本

ヨーロッパ地域

- フランス
- スペイン
- オランダ
- ベルギー
- ルクセンブルク
- イギリス
- アイルランド
- ドイツ
- オーストリア
- イタリア
- マルタ共和国
- スイス

THE AMERICAS

▶国と地域：6

▶1日当たりの販売本数：558万本

米州地域

- ブラジル
- ウルグアイ
- メキシコ
- ペリズ
- アメリカ
- カナダ

JAPAN

日本 ▶1日当たりの販売本数：905万本

ASIA AND OCEANIA

アジア・オセアニア地域

▶国と地域：14

▶1日当たりの販売本数：1,684万本

- 台湾
- 香港
- タイ
- 韓国
- フィリピン
- シンガポール
- ブルネイ
- インドネシア
- オーストラリア
- ニュージーランド
- マレーシア
- ベトナム
- インド
- 中国



会社概要

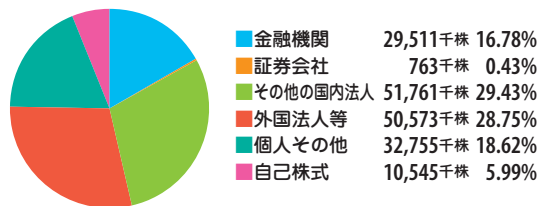
商号 株式会社ヤクルト本社
(YAKULT HONSHA CO.,LTD.)
設立 昭和30年4月9日
本店 東京都港区東新橋1丁目1番19号
電話 03(3574) 8960(大代表)
資本金 311億17百万円
従業員 3,046人

(注) 上記従業員数には、関係会社等への出向者298人および嘱託165人を含んでいます。

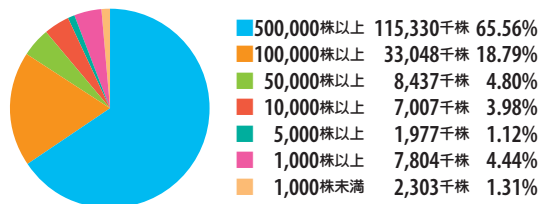
株式の状況

発行可能株式総数……………700,000,000株
発行済株式総数……………175,910,218株
株主数……………21,156名

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



役員

代表取締役会長	堀 澄也	取締役	安田 隆二	常勤監査役	阿部 晃範
代表取締役社長	根岸 孝成	取締役	福岡 政行	常勤監査役	山上 博資
取締役	川端 美博	取締役	クリスチャンノイ	監査役	奥平 哲彦
取締役	甲斐 千束	取締役	レナト・ホスレイ	監査役	角屋 良平
取締役	根岸 正広	取締役	大関 康男	監査役	谷川 清十郎
取締役	阪本 重善	取締役	山本 公総	監査役	小林 節子
取締役	成田 裕	取締役	松園 直史	監査役	吉田 宏一
取締役	リチャード・ホール				

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
パークレイズバンクピーエルシー シンガポール ノミニー ダノン プロバイオティクス プライベート リミテッド	29,930	17.01
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	6,492	3.69
エムエルピーエフエス ノミニー・ダノン アジア ホールディングス プライベート リミテッド	5,282	3.00
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口	4,957	2.82
松尚株式会社	4,917	2.80
共進会	4,415	2.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,739	1.56
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,683	1.53
麒麟ビバレッジ株式会社	2,458	1.40
株式会社みずほ銀行	2,186	1.24

(注) 共進会は、当社の取引先であるヤクルト販売会社を会員とする持株会社です。
上表のほか、当社は自己株式10,545千株を保有しています。

コラム Column プロバイオティクスによる免疫調節作用

低下したNK活性を回復させる食品素材として、かねてから乳酸菌 シロタ株による効果が確認されています。本レポートではその主な研究結果について紹介します。

疾病予防におけるNK細胞のかかわり

体の防御にとって重要な免疫担当細胞のひとつに、ウイルスに感染した細胞に対して攻撃を仕掛けるナチュラルキラー（NK）細胞があります。そのNK細胞の働きを度合いをNK活性と呼んでいます。

NK活性とウイルスなどに対する感染防御についての研究では、63～99歳の高齢者のうち、NK活性が低いほど感染症の発生率が高いことが示されており、NK活性が健康に大きくかかわっていることが認められています。NK細胞のウイルスに対する効果については、インフルエンザウイルスに対して乳酸菌 シロタ株に感染防御効果のあることが証明されています。

乳酸菌 シロタ株によるNK活性回復効果

1 喫煙者に対する効果

この研究は、被験者（喫煙習慣のある20歳～60歳の男性で健康状態には問題のない99人）を2つのグループに分け、一方のグループに乳酸菌 シロタ株はっ酵乳製品（シロタ株 400億個／本）、他方にはプラセボ（風味は全く同じで、シロタ株を含まないもの）を毎日1本、3週間飲んでもらい、飲用前後に採血してNK活性を調べたものです。

これまで、喫煙者は非喫煙者に比べてNK活性が低いと報告されてきましたが、この試験ではそれに加えて喫煙本数が増えるほどNK活性が低くなることもわかりました。

各試験飲料の飲用前後のNK活性から変化量の平均値を求め、それを上回った人の割合を比較した結果、プラセボを飲んだグループでは49人中21人（43%）であったのに対し、乳酸菌 シロタ株はっ酵乳製品のグループでは50人中33人（66%）のNK活性が平均値を上回りました。

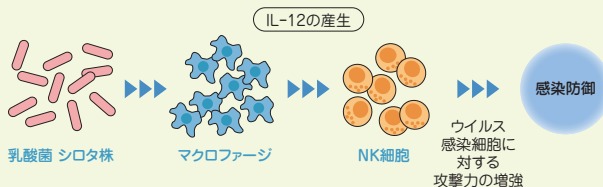
2 高齢者に対する効果

この試験は高齢者10人（69～97歳）を対象に、乳酸菌 シロタ株はっ酵乳製品（シロタ株 400億個／本）を毎日食後に1本、3週間飲んでもらい、飲用前と飲用期間終了後でのNK活性の変化を調べました。プラセボを飲んだ場合では、ほとんどの被験者のNK活性が低下し、その傾向は飲用前のNK活性が高い人ほど顕著なものでした。一方、乳酸菌 シロタ株はっ酵乳製品の飲用では、ほとんどの被験者でNK活性が高くなり、これまでの研究結果と同様にNK活性が低い人に対しては活性を上昇させ、高い人に対しては活性を維持する免疫調節作用が認められました。

感染防御効果とNK活性には密接な関係があることから、乳酸菌 シロタ株を継続的に摂取することは、健康維持にとっても重要と考えます。

● 乳酸菌 シロタ株がNK活性を高めるメカニズム

乳酸菌 シロタ株のNK活性回復作用



乳酸菌 シロタ株によるNK活性増強作用はNK細胞の数を増やすのではなく、個々の細胞活性を高めるものです。その仕組みについて、次のような可能性が考えられます。乳酸菌 シロタ株をマクロファージが取り込むと、マクロファージは活性化してIL-12（インターロイキン12）という物質を作ります。NK細胞はこのIL-12によって働きが高まるということが知られています。

乳酸菌 シロタ株は数あるプロバイオティクスの中でも、マクロファージにIL-12を作らせる作用の強い菌株であることがわかっています。

したがって、摂取した乳酸菌 シロタ株がマクロファージなどのIL-12産生機構を増強し、NK活性を高めるのではないかと推測されます。

健康情報誌

「ヘルシスト」の ご紹介

「ヘルシスト」は、1976年(昭和51年)創刊の、隔月で発行する健康情報誌です。「健康」「生命科学」「先端研究」をキーワードに、最新の研究や、健康に関する話題・気になる情報などを正確に、そしてわかりやすくお伝えしています。

最新号(No.222)では、身体にストレスがかかる
と細胞を守るためにつくられるストレスタンパク質
について免疫やがんといった観点から解説し、また
最近話題のネット依存症についてもその現状と対
策を紹介しています。さらに近刊では、iPS細胞、運
動機能障害(ロコモティブシンドローム)といったト
ピックスや、温泉の効用、お肌のトラブル対策など
身近な情報も掲載しています。

こちらのサイトから一部閲覧できます。



<http://www.yakult.co.jp/healthist/>



年間定期購読のお問い合わせ、お申し込みはこちらまでお願いします。

配送代行 文藝春秋定期購読センター

☎ 0120-588-229

(受付時間 10:00~17:00 土・日・祝日を除く)

奇数月
10日発行

購読期間

1年間
(6冊)

購読料

1,890円
(税込)

ホームページのご紹介

当社のホームページでは、会社情報、IR情報、商品情報、環境・社会活動などさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けましては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。



<http://www.yakult.co.jp/>

株主優待

当社商品の提供 ※保有期間に応じて優待内容が異なります。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年未満)

●当社商品3品(「化粧品」「乾めん詰め合わせ」「ジュース詰め合わせ」のうちお好きな商品を1品進呈(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります)。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年以上)

●当社商品3品(「化粧品」「乾めん詰め合わせ」「ジュース詰め合わせ」のうちお好きな商品を2品進呈(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります)。

※発送は7月下旬の予定です。

東京ヤクルトスワローズが神宮球場で開催するプロ野球公式戦「株主優待証(外野自由席)」の提供

毎年9月30日現在で1,000株以上所有の株主の皆さま

●対戦するセ・リーグ5チームにつき2試合ずつ計10試合プラス交流試合2試合で計12試合まで。1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可。

毎年9月30日現在で100～999株所有の株主の皆さま

●年間2試合まで。1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可。

※発送は3月中旬の予定です。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	
株主総会	定時株主総会	毎年6月中
	臨時株主総会	必要に応じ随時
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日

公告掲載方法 電子公告 <http://www.yakult.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人	東京証券代行株式会社
事務取扱場所	〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番2号 (日本ビル4階)
(郵便物送付先) 連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎0120-49-7009

株式に関する手続きについて 株券電子化にともない、現在の各種手続きのお申し出先は次のとおりとなっております。

1. 未支払配当金のお支払い

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定など

お取引の証券会社等にお申し出ください。なお、特別口座に記録された株式の手続き(証券会社に開設した口座への振替など)に関しましては、すべて当社の特別口座管理機関である東京証券代行株式会社にお問い合わせください。

Yakult

株式会社ヤクルト本社

証券コード2267

東京都港区東新橋1丁目1番19号

TEL:03-3574-8960(大代表)

<http://www.yakult.co.jp/>

